

2019年3月期 第3四半期連結業績概要 2019年3月期 通期見通しについて

常務執行役員
山西 哲司

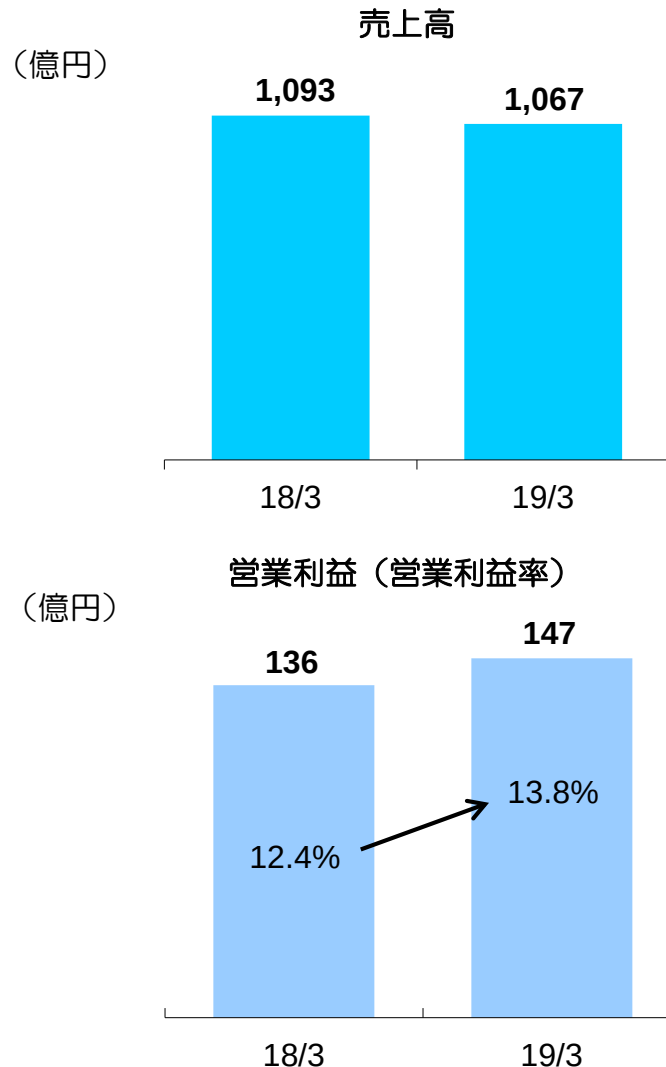
2019年3月期 第3四半期決算のポイント

- 第3四半期売上高は前年同期比2.8%増、営業利益は前年同期比2.1%減
- 9ヶ月累計ベースでは売上・営業利益・税引前利益・当期純利益が過去最高を更新
 - ↳ 自動車市場向け販売が好調なコンデンサが受動部品全体の収益基盤を底上げ
 - ↳ 中国スマホ向けの売上が拡大した二次電池が高い収益性を維持し全社収益を牽引
- 第3四半期中盤以降、中国経済減速の影響により受注状況が急速に悪化
 - ↳ 前回発表時（2018/10/31）に前提とした受注状況が大きく変化したことを踏まえ、通期連結業績見通しを修正
 - ↳ 中期的な経営環境を見据え、中期経営目標の達成に注力

2019年3月期 第3四半期（四半期） 連結業績概要

(億円)		2018年3月期 第3四半期実績	2019年3月期 第3四半期実績	前期比	
				増減	増減率 (%)
売上高		3,411	3,508	97	2.8
営業利益		335	328	△ 7	-2.1
営業利益率		9.8%	9.4%	-0.4 pt	-
税引前利益		335	310	△ 25	-7.5
当期純利益		216	224	8	3.7
1株当たり利益 (円)		170.96	177.45	-	-
為替	対ドルレート (円)	112.97	112.90	0.1%の円高	
	対ユーロレート (円)	133.00	128.87	3.1%の円高	
為替変動による 影響金額		売上高：約49億円の減収 営業利益：約3億円の減益			

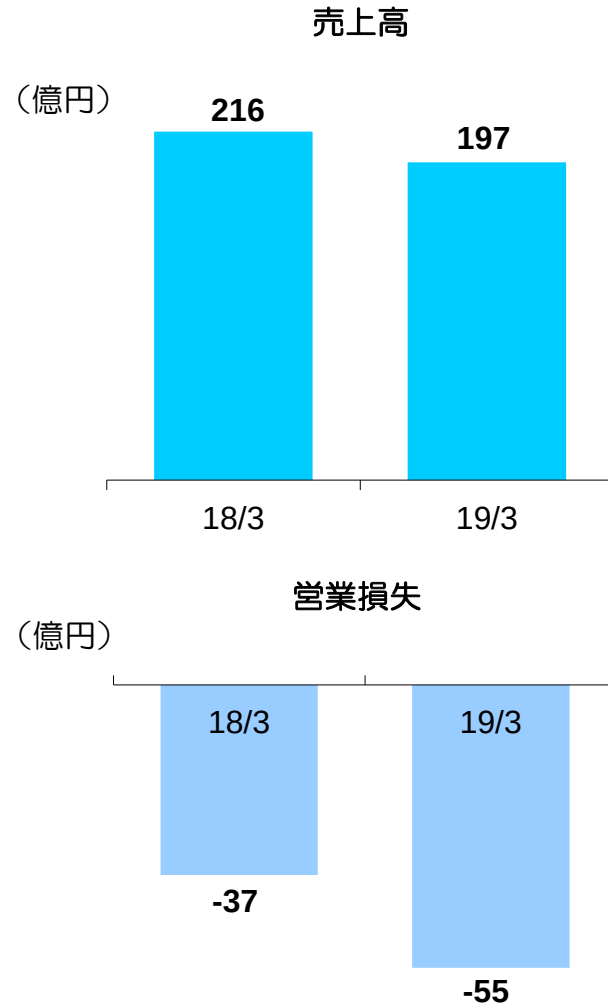
第3四半期各事業の状況（受動部品事業）



売上高 1,067億円（前年同期比2.4%減）
営業利益 147億円（前年同期比8.1%増）

- セラミックコンデンサ
 - ↳ 前年同期比で増収増益。
 - ↳ 自動車市場向け需要が堅調に推移し販売が増加。
- アルミ・フィルムコンデンサ
 - ↳ 前年同期比で減収減益。
 - ↳ 産業機器市場向けの販売が減少。
- インダクティブデバイス
 - ↳ 前年同期比で減収、営業利益は同水準を維持。
 - ↳ 産業機器、ゲーム機、白物家電向けの販売が減少。
- 高周波部品
 - ↳ 売上は前年同期比で増加。
 - ↳ ICT市場向けの販売が増加。
- 圧電材料部品・回路保護部品
 - ↳ 前年同期比で減収、営業利益は同水準を維持。
 - ↳ ICT市場向けの販売が減少。

第3四半期各事業の状況（センサ応用製品事業）

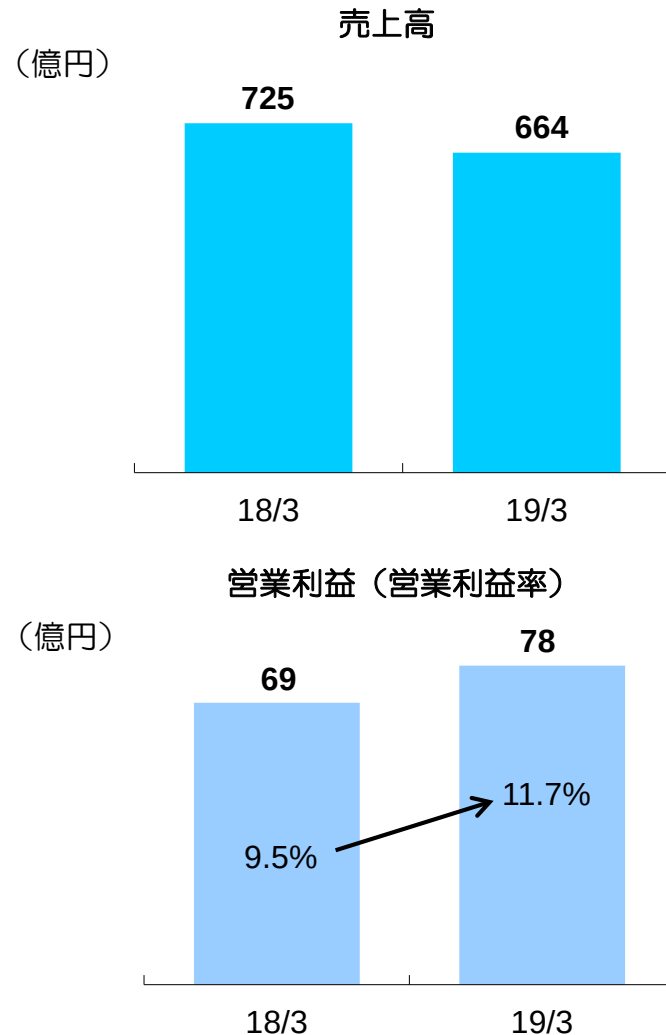


売上高 197億円（前年同期比8.8%減）
営業損失 △55億円（前年同期比一%増）

● センサ

- 温度・圧力センサは、自動車向け販売が伸び前年同期比で増収、営業利益も同水準を維持。
- 磁気センサは、ホールセンサが自動車向け販売が伸び増収増益。TMRセンサは、スマホ向け販売が減少も収益性は改善。
- MEMSセンサは、中国の景気減速等の影響で販売が落ち込み、減収減益。

第3四半期各事業の状況（磁気応用製品事業）



売上高 664億円（前年同期比8.4%減）
営業利益 78億円（前年同期比13.0%増）

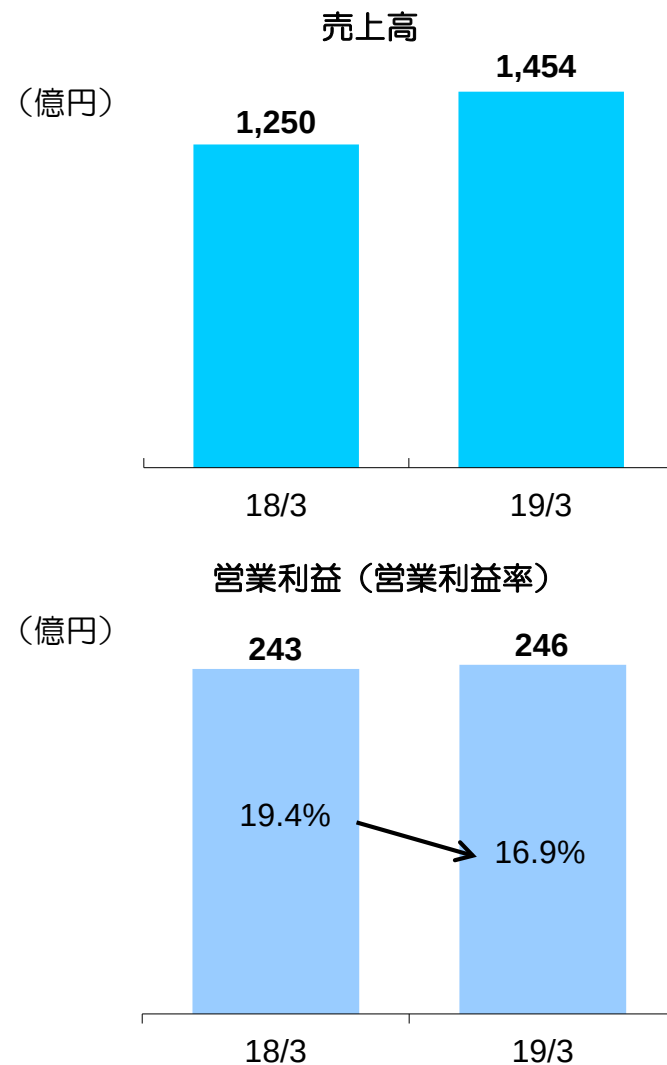
- HDDヘッド・サスペンション

- ↳ 前年同期比で減収増益。
- ↳ 主にHDD組立数量減により減収。
- ↳ HDDヘッド及びサスペンションの製品ミックス良化、さらにサスペンション応用製品（微細金属加工部品）の収益性改善により増益。

- マグネット

- ↳ 前年同期比で減収減益。
- ↳ 風力発電向け、産業機器向けの売上が減少。

第3四半期各事業の状況（エナジー応用製品事業）



売上高 1,454億円（前年同期比16.3%増）
営業利益 246億円（前年同期比1.2%増）

- エナジーデバイス（二次電池）
 - ↳ 前年同期比で増収増益。
 - ↳ スマホ、ノートPC、タブレットのモバイル機器向けの販売が拡大。
- 電源
 - ↳ 産業機器用電源は、需要の低迷により前年同期比で減収減益。

セグメント別四半期実績

Attracting Tomorrow



(億円)		2018年3月期 第3四半期 (A)	2019年3月期 第2四半期 (B)	2019年3月期 第3四半期 (C)	対前年同期比増減 (C) - (A)		対直前四半期増減 (C) - (B)	
					増減	増減率(%)	増減	増減率(%)
売上高	コンデンサ	401	439	427	26	6.5	△ 12	△ 2.7
	インダクティブデバイス	403	416	395	△ 8	△ 2.0	△ 21	△ 5.0
	その他受動部品	289	266	245	△ 44	△ 15.2	△ 21	△ 7.9
	受動部品合計	1,093	1,121	1,067	△ 26	△ 2.4	△ 54	△ 4.8
	センサ応用製品合計	216	206	197	△ 19	△ 8.8	△ 9	△ 4.4
	磁気応用製品合計	725	754	664	△ 61	△ 8.4	△ 90	△ 11.9
	エネルギー応用製品合計	1,250	1,548	1,454	204	16.3	△ 94	△ 6.1
	その他	128	160	126	△ 2	△ 1.6	△ 34	△ 21.3
	合計	3,411	3,789	3,508	97	2.8	△ 281	△ 7.4
営業利益	受動部品	136	164	147	11	8.1	△ 17	△ 10.4
	センサ応用製品	△ 37	△ 46	△ 55	△ 18	-	△ 9	-
	磁気応用製品	69	9	78	9	13.0	69	766.7
	エネルギー応用製品	243	333	246	3	1.2	△ 87	△ 26.1
	その他	△ 2	△ 17	△ 12	△ 10	-	5	-
	小計	409	444	405	△ 4	△ 1.0	△ 39	△ 8.8
	全社および消去	△ 74	△ 76	△ 77	△ 3	-	△ 1	-
	合計	335	368	328	△ 7	△ 2.1	△ 40	△ 10.9
営業利益率		9.8%	9.7%	9.4%	-0.4pt	-	-0.3pt	-
為替	対ドルレート (円)	112.97	111.50	112.90				
	対ユーロレート (円)	133.00	129.63	128.87				

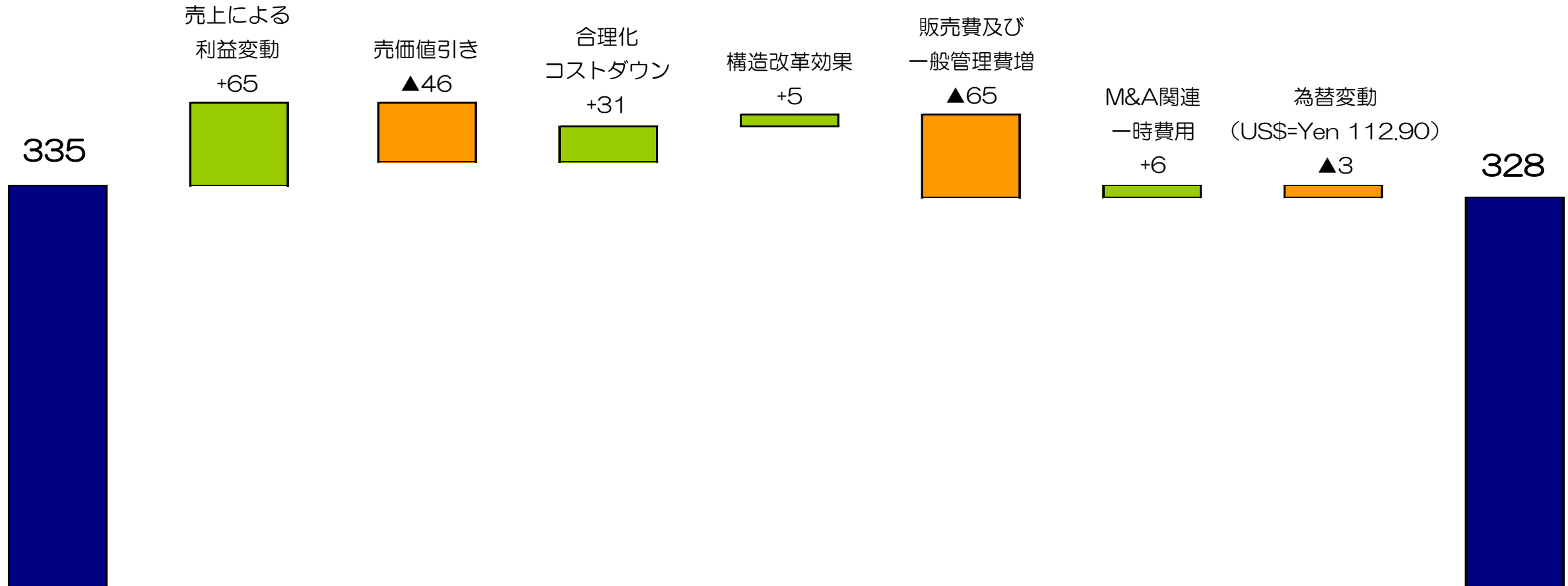
営業利益増減分析

2018年3月期
第3四半期
335億円

営業利益 ▲7億円

2019年3月期
第3四半期
328億円

(単位：億円)



2019年3月期 第3四半期（9か月）連結業績概要

(億円)		2018年3月期 第3四半期累計実績 (2017.4.1～2017.12.31)	2019年3月期 第3四半期累計実績 (2018.4.1～2018.12.31)	対前年同期比	
				増減	増減率 (%)
売上高		9,647	10,727	1,080	11.2
営業利益		777	949	172	22.1
営業利益率		8.1%	8.8%	+0.7pt	-
税引前利益		777	888	111	14.3
当期純利益		523	635	112	21.4
1株当たり利益 (円)		414.12	502.78	-	-
為替	対ドルレート (円)	111.72	111.17	0.5%の円高	
	対ユーロレート (円)	128.45	129.55	0.9%の円安	
為替変動による 影響金額		売上高：約28億円の減収 営業利益：約12億円の増益			

2019年3月期 連結業績及び配当金見通し

(億円)		2018年3月期 通期実績	2019年3月期 業績予想 (2018年4月発表)	2019年3月期 業績予想 (2018年10月発表)	2019年3月期 業績予想 (2019年1月発表)	業績予想対前期比	
						増減	増減率(%)
売上高		12,717	13,400	14,200	13,700	983	7.7
営業利益		897	1,000	1,200	1,100	203	22.6
営業利益率		7.1%	7.5%	8.5%	8.0%	+0.9 pt	-
税引前利益		898	980	1,140	1,140	242	26.9
当期純利益		635	700	800	800	165	26.0
1株当たり利益(円)		502.80	554.43	633.53	633.53	-	-
配当金		上期：60円 下期：70円 年間：130円	上期：70円 下期：70円 年間：140円	上期：80円 下期：80円 年間：160円	上期：80円 下期：80円 年間：160円	-	-
為替	対ドルレート	110.93	105.00	下期 110.00	4Q 108.00	-	-
	対ユーロレート	129.64	129.00	下期 130.00	4Q 124.00	-	-
固定資産の取得 (設備投資)		1,786	2,100	2,100	1,900	114	6.4
減価償却費		922	1,100	1,100	1,100	178	19.3
研究開発費		1,026	1,100	1,100	1,100	74	7.2

将来に関する記述についての注意事項

この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといいます。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

また、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。



決算説明会の質疑応答を含むテキスト情報は、以下のページに後日掲載いたします。
https://www.tdk.co.jp/corp/ja/ir/ir_events/conference/2019/3q_1.htm